

QUALIFYING NEWS FLASH

Formula NIPPON

Rd. 6

予選速報

2012 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第6戦 2012年9月23日(日) スポーツランドSUGO

www.f-nippon.co.jp

発行人/編集人:
株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Series Supporter

八人酒造

観光庁
Japan Tourism Agency

Take Free
ご自由におとりください



DOCOMO TEAM DANDELION RACINGがまたもフロントロウ独占!!
No.40 伊沢拓也が今季2度目のポールポジションを獲得
その差は0.021秒!塚越が2位。松田、一貴が3、4位につける



QUALIFYING NEWS FLASH plus

9月22日(土)、全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第6戦の公式予選が、スポーツランドSUGO(宮城県)で行われ、No.40 伊沢拓也(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)が、今季2回目のポールポジションを獲得した。

Q1、Q2とロイック・デュバルが激走

この日のスポーツランドSUGOは、初秋の好天に恵まれた。Q1(20分間)は午後1時40分スタート。ここでは、18台から13台に絞り込まれる。気温23℃、路面温度34℃というコンディションの中、まず全車がユーズドタイヤで路面やマシンの状態を確認。その後、残り時間が10分ほどで戻るとニュータイヤを装着し、タイムアタックへ。

まず1分08秒を切ってきたのは、No.32 小暮卓史(NAKAJIMA RACING)。しかし、間もなくNo.40 伊沢拓也(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)、No.20 松田次生(Team IMPUL)、No.19 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ(Team IMPUL)らが次々にベストタイムをマークし、小暮のタイムを上回ってくる。その中で、一気にトップに立ったのは、No.8 ロイック・デュバル(Team KYGNUS SUNOCO)だった。これに伊沢、No.2 中嶋一貴(PETRONAS TEAM TOM'S)、No.41 塚越広大(DOCOMO TEAM DANDELION RACING)、松田、No.7 大嶋和也(Team LeMans)、No.39 国本雄資(Projectu/cerumo-INGING)、デ・オリベイラと続いている。

一方、このQ1で敗退となったのは、No.15 佐藤琢磨(Team 無限)、No.3 安田裕信(KONDO RACING)、No.38 平手晃平(Projectu/cerumo-INGING)、No.62 嵯峨宏紀(TOCHIGI Le Beausset Motorsport)、No.18 折目遼(SGC by KCMG)だった。



7分間のQ2がスタートしたのは、午後2時10分。今度は13台から8台に絞り込まれる。各車は、ここではニュータイヤをいきなり装着。そして、残り時間が5分となったところで一斉に動き出す。ここでもまず伊沢が1分07秒406という好タイムをマーク。塚越がこれに続く。しかし、Q1と同様、この2人を上回ってトップに立ったのはデュバル。SUGOを得意としているデュバルは、ここで1分07秒198までタイムを伸ばした。

これに続いたのは大嶋。以下、伊沢、塚越、No.1 アンドレ・ロッチャー(PETRONAS TEAM TOM'S)、小暮、一貴、松田までがQ2を突破。これに対し、僅差でQ3進出を逃したのは、山本、デ・オリベイラ、国本、No.31 中嶋大祐(NAKAJIMA RACING)、No.10 金石年弘(HP REAL RACING)。前戦ツインリンクもてぎで優勝し、ランキング4位となったデ・オリベイラには痛恨の結果だ。

DOCOMO TEAM DANDELION RACINGの2人がタイムアップ

午後2時17分、いよいよ最後のQ3が始まる。Q2と同様、全車ニュータイヤを装着してタイミングを待つ。そして、開始から1分で各車がコースイン。アウトラップから計測1周目までタイヤを温め、どのドライバーも計測2周目にフルアタックに入った。

Q1とQ2でトップのデュバルはアタックラップに入ると、すべてのコーナーでも猛プッシュするが、SPコーナーで姿勢を乱し、1分07秒504と、Q1、Q2の自己ベストタイムを下回った。

これに対して、まず塚越が1分07秒083をマークすると、間もなく伊沢がこれを10分の3秒上回る1分07秒062を叩き出した。これを上回るドライバーはおらず、伊沢は今季開幕戦鈴鹿に続く2回目のポールを獲得。塚越は2位となり、DOCOMO TEAM DANDELION RACINGとしても開幕戦以来のフロントロウ独占を果たした。



決勝は優勝しかないと 생각합니다



予選日は朝のフリー走行からクルマが非常に乗りやすく、セッション最後もトップタイムを出せました。予選に向けてはどうかと思っていましたが、Q1、Q2とロイック(デュバル)選手に負けていて、少し修正しなくちゃいけないなというところがありましたね。そこで多少手を加えたら、Q3はクルマも良く、あとは僕がクルマを信じて踏んで行くだけだったので、それがすべて上手く行った結果だったと思います。ポールポジションに関しては、意外と“あ、良かった”っていう感じで落ち着いていて、自分でも少しビックリしましたね。でも、朝から自分の中で手応えがあって、段階を踏んだ中でのポールだったので。決勝は、優勝しかないと。僕はチャンピオン争いにギリギリ残っているんですけど、今日勝たないとその権利が無くなっちゃうのかなと。そう思いつつ、細かいことは考えず、最後まで出し切れればいかなと思っています。

何事もなくSUGO戦が終わるはずがない!?

チャンピオン争い、プライドの主張。見逃せないバトルが連発だ!!

Round 6 SUGO Preview

決勝はチームメイト同士の熾烈なバトルに発展!?

DOCOMO TEAM DANDELION RACINGとPETRONAS TEAM TOM'Sに要注意

予選日から多くの人が足を運んだスポーツランドSUGO。最後まで白熱した予選で、今季2度目のポールポジションを獲得したのは、伊沢拓也だった。今日のレースで、まず一番の見どころとなるのは、この伊沢拓也の初優勝なるかどうかというところ。今年開幕戦、初のポールポジションを奪った際に、伊沢はスタートでチームメイトの塚越広大、中嶋一貴に先行を許し、ピットインのタイミングでもポジションを落としてしまった。

またDOCOMO TEAM DANDELION

RACINGが第3戦オートポリスでチーム史上初のワンツーフィニッシュを果たした時も、優勝したのは塚越。伊沢は2位に留まっている。その悔しさをここで晴らし、伊沢は初優勝をもち取るのか。その悲願を達成するためにも最初のキーポイントとなるのは、スタートだろう。今季多くのレースでスタートを決めている塚越もフロントロウにつけているということで、このあたりは見逃せない。

またスタートといえば、予選5番手だったアンドレ・ロッターにも注目。ロッターは現在1ポイント差でランキ

ング2位。ランキングトップの座を争っている中嶋一貴はロッターのひとつ前、4番手からスタートする。だからこそ、このチームメイト同士の争いも行方が気になるところだ。そして、さらにキーポイントとなりそうなのは、天候。今日は昼頃から雨になるのではないかと天気予報が出されているが、そうなるとレース展開は混んとしてくる。特に、雨と言え、外国人ドライバー勢が速さを発



2011 Rd.6 SUGO

揮するが、予選7番手に留まったロイック・デュバルや予選10番手となってしまったジョアオ・パオロ・デ・オリベイラはどこまで追いつけるのか。そのあたりも見どころとなるだろう。

Round 6 SUGO Topic

2014年からの新シャシーはダラーラ社製に決定

“SF14”は運動性能の向上と安全性の確保を高次元に両立

予選が行われた9月22日、定例のサタデーミーティングが行われた。席上、白井裕JRP社長は、2014年の全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ(現・フォーミュラ・ニッポン)で使用する新シャシーについて、兼ねてから交渉を続けていたイタリアのレーシングカーコンストラク

ター(製造会社)であるダラーラ社と契約したことを発表した。ダラーラ社は、現行の各国F3や米国インディカー・シリーズでシャシーを供給しており、世界トップレベルの技術を持っている。

新シャシー「SF14」は、走るための運動性能を更に追求した目標をJRPが設定。国内外コンス

ラクター数社からの回答で、車両性能、品質はもとより、価格や供給体制などの面で最も優れていたダラーラ社に決定したと白井社長は語った。このSF14は、軽量化を最優先として開発を行い、運動性能面でのマシン効率を向上させることと、安全性の確保とも高次元に両立させた、スーパーフォーミュラのオリジナルシャシーとなる。

開発テストのスケジュールについては、2013年中盤に国内でシェイクダウンを予定していると語った。



Pick Up!



2001年に英国F3でチャンピオンを獲得後、F1世界選手権、インディカー・シリーズに参戦し、日本人最上位記録を打ち立ててきた佐藤琢磨。その国際派ドライバーが、フォーミュラ・ニッポン第6戦にスポット参戦する。

先週末にインディカー・シリーズが終了、すぐさまスポーツランドSUGOに駆けつけた琢磨

だが、実はこのSUGOは初めてだという。「金曜日に初めて来たんです。予想よりアップダウンもあり、非常にチャレンジングなサーキットですね」

そして迎えた公式戦本番。シーズン前のテストで少しは乗ったと言え、初めてのマシン、初めてのコースに苦戦を強いられる。しかし「それは覚悟してきた」と言う。「フォーミュラ・ニッポンの競技レベルが高いのは分かっていました。しかも途中参戦です。上位を走れないなら出場する意味はないという考えもありますが、僕はそ

「母国グランプリと同じ気持ちで、このレースに挑む」

インディカー・ドライバー佐藤琢磨がフォーミュラ・ニッポン第6戦に参戦

れでも走ってみたい、それだけ魅力あるお話しだったんです。この大会も最後にチームと共に達成感が味わえれば良いなと思います」と、この苦境にもめげっていない。

それだけに、予選後には「全然攻めきれなかったね。プラクティスから予選に向けて、ちょっとクルマを変えたんですけど、それが予想していたのと違って。正直ちょっと戸惑ったっていうのもあります。『こうしておきたかった』っていう部分がいくつかあったので、それが心残り」と、結果以上にその内容を反省していた。

日本のレースに参戦する感想を聞くと「みんな日本語が分かっちゃうので、やたらなことは言えないな(笑)。もちろん日本は心地良いです。ただ、国内選手権に出てるとい気持ちではなく、日本グ



ランプリやインディ・ジャパンで戻ってきたのと同じように母国グランプリという気持ちで、サポートしてくれる多くのファンにありがとうという気持ちも込めて走りたくて」と今大会への決意も語ってくれた。

2nd No. **41** 塚越 広大
 DOCOMO TEAM DANDELION RACING



クルマを信じて 行き切れなかったのが差に出た

予選日朝のフリー走行は、最初の30分間、新しいことを試していたんですが、それがあまり良くなくて。残りの30分から伊沢さんのいいところを盗んで走ったんですけど、その30分の差を最後まで詰めることができなかったかなと思います。クルマのバランスはどんどん良くなって行ったんですけど、そこを信じて行き切れなかった。その差が、ポールと2位の差だったのかな。決勝は、伊沢さんとトップ争いになると思いますが、最後まで集中力を途切れさせないようにしたいですし、スタートでまた伊沢さんに勝てるように(笑)、がんばります。

3rd No. **20** 松田 次生
 TEAM IMPUL



最後は飛んでもいいくらい 踏んで行った

予選に向けてはクルマをどうするか悩んだんですけど、Q1から細かく車高などをアジャストしていきました。Q2では、その部分で少しやり過ぎて、SPコーナーでハーフスピンしてしまい、「落ちたかな」と思ったんですけど、ギリギリ残って。そこからもう一度クルマをアジャストして、ちょっと乗り方も変えて。最後はもう「飛んでもいいや」というくらい踏んで行ったのがジャンプアップにつながったかなと思います。前回のもてぎで、表彰台を逃したので、まず表彰台をキチッと獲って最終戦、地元の鈴鹿に向けて弾みをつけたいと思います。

4th No. **2** 中嶋 一貴
 PETRONAS TEAM TOM'S



決勝はトラブルフリーで しっかりと走り切る

去年までは苦手のサーキットでしたが、今年はちゃんと前(の位置)で戦える状態ですね。自分の中ではすごく大きいことです。朝の走行でクルマをクラッシュさせたのですが、まず100%の状態にスタッフが直してくれたことに感謝ですね。最後のQ3の攻撃も悪くありませんでした。ただ、トップ2台が速かった。タイトル争いを考えると、まずはここでしっかりとレースをすることが大事。もちろん勝てれば最高ですが、そうでなくとも優勝からより近い位置でチェッカーを受けたいですね。最後までトラブルフリーでしっかりと走り切ることが大事になると思います。

5th No. **1** アンドレ・ロッテラー
 PETRONAS TEAM TOM'S



一貴よりも前で チェッカーを受けたい

午前中はコースコンディションが今イチだったし、グリップしない状態でそれにクルマを合わせなきゃいけないから、ちょっと戸惑ったんだ。でも次第に感覚も戻ったし、攻撃も問題なかった。確かにQ3の攻撃はパーフェクトじゃなかったけどね。タイヤがヒートアップした上にトラフィックも重なり、SPでベースダウンしなきゃいけないんだ。タイミングが悪かったな。フィーリングが良かったけれど、ちょっとしたことでこの順位になったという感じ。とにかく決勝は(チャンピオン争いをする中嶋)一貴よりも前でチェッカーを受けたいね。

6th No. **7** 大嶋 和也
 Team LeMans



決勝は天気が悪そう。 何があるかわからない

クルマの調子が良かったので、今回はポールポジションが獲れるかなと思ってました。それくらい途中までは流れも良かったです。でも予選が始まったら、あれっ!? ちょっとアンダーステアが強いかな、って感じになって…。それを直そうとあれこれやったんですけど、最後まで直らなかったですね。Q1から全インターバルでメカニックががんばってくれたんですけど、最後まで直りませんでしたね。それにQ2からQ3でタイムを落としてしまったのも悔しいです。決勝は天気が悪そうなので、まだまだ何があるかわからないので、それを味方がんばります。

Formula NIPPON

Starting Grid

Race start:
15:00

40 伊沢 拓也 DOCOMO TEAM DANDELION RACING Honda HR12E Q1: 1'07.420 Q2: 1'07.406 Q3: 1'07.062	P.P.	2 塚越 広大 DOCOMO TEAM DANDELION RACING Honda HR12E Q1: 1'07.574 Q2: 1'07.421 Q3: 1'07.083
20 松田 次生 TEAM IMPUL TOYOTA RV8K Q1: 1'07.597 Q2: 1'07.535 Q3: 1'07.234	3	4 2 中嶋 一貴 PETRONAS TEAM TOM'S TOYOTA RV8K Q1: 1'07.488 Q2: 1'07.503 Q3: 1'07.329
1 アンドレ・ロッテラー PETRONAS TEAM TOM'S TOYOTA RV8K Q1: 1'08.024 Q2: 1'07.435 Q3: 1'07.486	5	6 7 大嶋 和也 Team LeMans TOYOTA RV8K Q1: 1'07.652 Q2: 1'07.393 Q3: 1'07.504
8 ロイク・デュバル Team KYGNUS SUNOCO TOYOTA RV8K Q1: 1'07.284 Q2: 1'07.198 Q3: 1'07.526	7	8 32 小暮 卓史 NAKAJIMA RACING Honda HR12E Q1: 1'07.996 Q2: 1'07.494 Q3: 1'07.624
16 山本 尚貴 TEAM 無限 Honda HR12E Q1: 1'08.423 Q2: 1'07.766	9	10 19 ジョアオパオロ・デオリベイラ TEAM IMPUL TOYOTA RV8K Q1: 1'07.857 Q2: 1'07.862
39 国本 雄資 Project μ/cerumo-INGING TOYOTA RV8K Q1: 1'07.751 Q2: 1'07.924	11	12 31 中嶋 大祐 NAKAJIMA RACING Honda HR12E Q1: 1'08.411 Q2: 1'08.185
10 金石 年弘 HP REAL RACING Honda HR12E Q1: 1'08.288 Q2: 1'08.509	13	14 15 佐藤 琢磨 TEAM 無限 Honda HR12E Q1: 1'08.476
3 安田 裕信 KONDO RACING TOYOTA RV8K Q1: 1'08.568	15	16 38 平手 晃平 Project μ/cerumo-INGING TOYOTA RV8K Q1: 1'08.885
62 嵯峨 宏紀 TOCHIGI Le Beausset Motorsports TOYOTA RV8K Q1: 1'08.997	17	18 18 折目 遼 SGC by KCMG TOYOTA RV8K Q1: 1'10.744

予選日: 2012年9月22日(土) 出走18台
 Q1: 天候: 晴れ/路面: ドライ
 Q2: 天候: 晴れ/路面: ドライ
 Q3: 天候: 晴れ/路面: ドライ
 予選通過基準タイム: 1'11.994 / Q1 107%

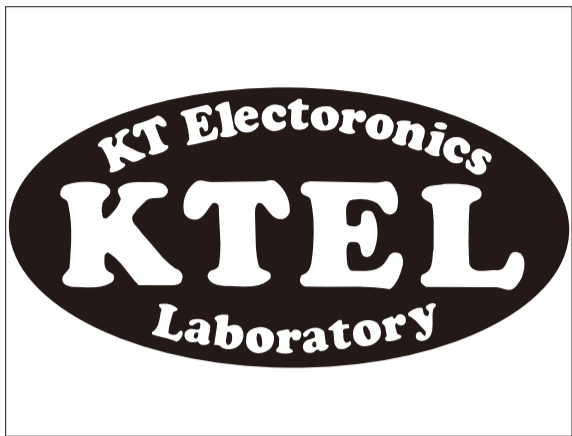
※本グリッドは公式予選結果を元に予選速報編集部で作成したもので、主催者による公式発表ではありません。

Team Pit

*	*	1,2	*	*	19,20	*	*	40,41	*	*	7,8	*	*	31,32	*	*	38,39	*	*	*	*	15,16	*	*	*	18	*	*	*	10	*	*	*	3	*	*	62							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45

◀ 1st Corner

Lap up Formula NIPPON!



本紙への広告掲載のお問合せは:
 株式会社 日本レースプロモーション
 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25
 03-3237-0131 <http://www.f-nippon.co.jp>



タイムスケジュール (決勝日)

8:00	>>	F3 Round12 決勝 (25周)
9:25	>>	Vitz 決勝 (10周)
10:10	>>	Formula NIPPON フリー走行 (8周)
10:40	>>	
11:15	>>	CIVIC 決勝 (15周)
12:00	>>	PIT WALK
12:30	>>	
13:05	>>	F3 Round13 決勝 (25周)
15:00	>>	Formula NIPPON Rd.6 決勝 (68周)

POINT STANDINGS 第5戦終了時点

Po.	No.	Driver	Point
1	2	中嶋一貴	34
2	1	アンドレ・ロッテラー	33
3	41	塚越 広大	29
4	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ	28
5	40	伊沢 拓也	21
6	7	大嶋 和也	15
7	20	松田 次生	15
8	8	ロイック・デュバル	14

2012 フォーミュラ・ニッポン年間スケジュール

Rd.	Date	Location
Rd.1	4/14,15	鈴鹿サーキット
Rd.2	5/12,13	ツインリンクもてぎ
Rd.3	5/26,27	オートポリス
Rd.4	7/14,15	富士スピードウェイ
Rd.5	8/4,5	ツインリンクもてぎ
Rd.6	9/22,23	スポーツランドSUGO
Rd.7	11/3,4	鈴鹿サーキット
SPL.	11/16~18	FUJI SPRINT CUP



2011 Formula NIPPON 総集編DVD絶賛発売中!
 初参戦の若きF1経験者・中嶋一貴が刺激になったか、実力がありながら“無冠の帝王”に甘んじていたアンドレ・ロッテラーがついに覚醒! 山本尚貴や塚越広大といった若手の台頭やロッテラーと前チャンプのデ・オリベイラ、韋駄天・小暮卓史との激闘など、名場面の連続だった2011年フォーミュラ・ニッポンをここに再現!! さらにJAF GPでのデッドヒート、スペシャルインタビューなども収録。
 お求めは、J SPORTSオンラインショップ (<http://store.jsports.co.jp/>)、その他取扱店で。定価3,990円(税込)



J SPORTS
 J SPORTSは今年もFormula NIPPONを全戦放映。サーキットに来場できないファンに、レースの臨場感をお届けします。

- フォーミュラ・ニッポン2012 第6戦 決勝
 決勝 9/23(日) 14:30~17:30 J SPORTS2(生放送)
 決勝再放送 9/24(月) 13:00~15:30 J SPORTS3
 9/26(水) 25:45~28:15 J SPORTS1
 9/29(土) 16:30~19:00 J SPORTS1
- フォーミュラ・ニッポン2012 ダイジェスト 第6戦 スポーツランドSUGO
 10/3(土) 17:45~17:55 J SPORTS2 ほかりート放送あり



BSフジ
 決勝日の翌週日曜日(再放送は翌々土曜日)にレースダイジェストを放映します。

- フォーミュラ・ニッポン2012 第6戦 スポーツランドSUGO
 9/29(土) 18:00~18:55[再放送: 10/6(土) 18:00~18:55]
 ※これまでと放送時間を変更されています。
- 番組ホームページ: <http://www.bs-fuji.tv/top/pub/formura2012.html>



GyaO! (オンデマンド放送)
 大会終了後14日後、24:00よりオンデマンド配信
<http://www.yahoo.co.jp/>

サマリー動画も配信中! フォーミュラ・ニッポン 公式ウェブサイト
<http://www.f-nippon.co.jp>



最新ニュースは随時更新。レースのサマリー動画や、フォーミュラ・ニッポンのことをさらに深く理解できる特集記事など、レースウィークでなくても楽しめるコンテンツも満載です。

レアなプレゼントが当たる優勝者宛クイズ実施中!
 フォーミュラ・ニッポン 公式モバイルサイト
<http://motorsports.ch/fn/index.php>



現地観戦には欠かせないライブタイミングを始めとした速報情報や、動画などの見たいコンテンツが満載! スマートフォン(全キャリア対応)からもアクセス可能です。
 ※Formula NIPPON公式モバイルサイトは、「モータースポーツチャンネル」内、無料特別サイトとして運用しています。
 ※docomo, au, SoftBank, スマートフォン共通。
 ※パソコンからのアクセスはできません。
 ※旧サイトの会員情報は新サイトへは引き継がれません。大変お手数ですが新サイトにて再度登録をお願い致します。



Enjoy Honda SUGO 2012
 ただいま絶賛開催中!
 鈴鹿やもてぎでお馴染みの「Enjoy Honda」がスポーツランド菅生で初開催! みて、遊んで、体感する様々なプログラムで、いろんなHondaを楽しもう!

SUPPORT RACES Result (Top10)

2012年アチーブメント全日本フォーミュラ3選手権 第11戦 決勝結果

Po	No	Driver	Machine	Time/Gap
1	36	中山 雄一	PETRONAS TOM'S F312	23'12.764
2	37	Richard Bradley	PETRONAS TOM'S F312	5.092
3	1	山内 英輝	B-MAX-F312	6.184
4	2	Rafael Suzuki	TODA FIGHTEX F308	17.110
5	23	佐々木 大樹	S Road NDDP F3	18.179
6	7	平峰 一貴	HFDP RACING F307	20.399
7	20	Gary Thompson	KCMG	22.413
8	35	勝田 貴元	TDP SPIRIT F307	23.373
9	8	野尻 智紀	HFDP RACING F312	33.745
10	19	Matthew Howson	KCMG	42.380

周回:18周 / 天気:晴れ / コースドライ / 出走:14台

2012 東北 SUPER FJ 第3戦 決勝結果

Po	No	Driver	Machine	Time/Gap
1	1	湯澤 翔平	ZAPS-city10VED	18'14.881
2	16	岡崎 善衛	太陽電気ZAPF109ED	8.939
3	35	栗村 和	アルビートビヨンドEDアソー	26.060
4	84	川福 健太	ASアートwind's時代屋ED	28.647
5	81	吉田 隆己	ウインズ飛騨ろう東北10VED	54.982
6	80	加藤 宏	Bob&TTR リバイバル	1'33.741
以上完走				
34	小村方 喜章	アルビート-GIA-EDKKS	5Laps	
36	佐藤 祐希	アルビートED玉三郎10V	失格	

12周 / 天気:晴れ / コースドライ / 出走:8台

ネットスカップヴィッツレース2012 東北シリーズ第3戦 予選結果

Po	No	Driver	Machine	Time/Gap
1	62	松原 亮二	N群馬FK光生APPVitz	1'49.976
2	1	小山 昌子	ネットヨタ仙台ヴィッツ	1'50.421
3	13	蓮田 昭男	DjacWmヴィッツML	1'50.516
4	66	沖ノ井直隆	東京IRCμMLヴィッツ	1'50.534
5	51	横田 剛	KYC VITZ TRZ	1'50.618
6	8	イシカワ ヨシオ	東京IRC石松μMLVitz絆	1'50.624
7	16	橋本 元	ちーとまNサヤカヴィッツ	1'51.158
8	34	渡辺 圭介	EVOLEXイマージュVitz	1'51.380
9	365	サネカタ イッセイ	ネットヨタノヴェルふくしまVitz	1'51.437
10	12	常盤 剛史	Djac-ML-Wm ヴィッツ	1'51.769

天気:晴れ / コースドライ / 出走:23台

MUGEN POWER Cup CIVIC 第4戦 予選結果

Po	No	Driver	Machine	Time/Gap
1	8	伊藤 博之	DRAWING μ Moty's FD2	1'35.215
2	72	谷口 行規	サージェントEDユーロシビック	1'35.280
3	16	ヒロボン	NUTEC制動屋GPO東野R	1'35.300
4	4	太田 侑弥	BRIDE ED PETRONAS FD2	1'35.331
5	7	大西 隆行	オートバックスG-7HDFD2	1'35.339
6	86	水越 真一	NUTECエンドレスCIVIC	1'35.435
7	38	カン ソンホ	1KOREA制動屋SSRFD2	1'36.310
8	68	並木 重和	エネオスEDフコスCIVIC	1'36.565
9	5	RIKU	シビックタイプRSTA	1'37.019
10	17	下田 亮次	コックピット狭山エンドレスFD2	1'37.717

天気:晴れ / コースドライ / 出走:12台

QUALIFYING NEWS FLASH Plus

左のQRコードからアクセス!

予選速報電子版「QUALIFYING NEWS FLASH Plus」には紙面では伝えきれないコンテンツがイッパイ! 全ドライバーの写真、マシンの写真、動画や、普段は見ることのできない公式通知など情報満載! 予選速報を読み終えたらQRコードからアクセス!!

無料

※コンテンツ内容は予告なく変更されることがあります。ご了承ください。